



通算第 10 回の SSH 通信です。今回は、天草高校が参加した外部発表会をお知らせします。暑い夏の戦いの様子が見えると思います。

## SSH 生徒研究発表会 in 神戸

8/8(水)と 8/9(木)に、神戸国際展示場で「SSH 生徒研究発表会」が開催され、本校からは校内選考を突破した 2 年 AS クラス 5 名が参加しました。

SSH 生徒研究発表会は、全国の SSH 校(204 校)や海外招聘校(11ヶ国 26 校)、SSH 経験校(4 校)が一堂に会し、研究成果をポスター形式で発表します。日程は以下の通りです。

### 8/8(水)

#### 9:00 基調講演

『You can be a scientist from today!』  
東京理科大学 秋山 仁

#### 10:30 ポスター発表 (審査)

#### 13:30 ポスター発表 (審査・相互審査)

#### 17:30 全体発表校選出

### 8/9(木)

#### 9:00 全体発表校による口頭発表(6校)

① 物理・工学 ② 化学 ③ 数学・情報  
④ 生物 ⑤ 農学・医学 ⑥ 地学

#### 12:30 ポスター発表

#### 14:00 表彰式

#### 15:00 閉会

本校は化学部門に、『手洗いは天草産の石けんで決まりばい!』といった研究テーマでエントリーしました。また、昨年度の科学部が様々な発表会で学んできたことを最大限に活かしたプレゼンテーションを練習し実践しました。

特に、列の後ろで発表を聞かれている方々に縮小版のポスターを持っていき 5 人全員がそれぞれ発表を行うことや、英語のポスター発表の仕方、一方的な説明にならないような配慮など、2 日間の中でも大きく成長する姿が見られました。

残念ながら賞をいただくことはできませんでしたが、今後の研究活動の方針を明確にできる機会となりました。昨年度は 1 つだった“Good Job シール”も、今年度は日本語 13 枚、英語 8 枚書いていただきました。



## Science Inter High @SOJO

7/29日(日)に、崇城大学で「Science Inter High @SOJO」が開催され、本校の 2 年 AS クラスと科学部が参加しました。

今回は、九州山口地区から 27 高校が参加し、684 名 121 件の発表がありました。本校からは、2 年 AS クラスが 10 点、科学部が 2 点の発表を行いました。

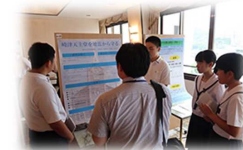
### 10:45 開会

### 11:00 ポスター発表

14:05 特別講演会1:米村 弘明 教授(崇城大学 工学部ナノサイエンス学科)  
「光と磁場を活用したナノサイエンスの醍醐味」

14:45 特別講演会2:大久保達也 教授(東京大学大学院工学系研究科)  
「ナノ空間材料を利用した持続可能な開発目標への挑戦」

### 15:25 表彰式



大学の先生方からの質疑にも懸命に答える姿がありました。それぞれの発表者が、今後の研究活動の参考となったようです。

## 全国総合文化祭「2018 信州総文祭」in 長野

8/7(火)から 8/9(木)に、長野県の諏訪大学で「第 42 回全国高等学校総合文化祭」が開催され、自然科学部門に熊本県代表として科学部が参加しました。

### 8/7(火)

#### ■ 研究発表会

珪藻・花粉分析から有明海の  
海水準変動を探る

### 8/8(水)

#### ■ 午前:研究発表会

#### ■ 午後:地域巡検

- セイコーエプソン時計工場
- 長野県林業センター

### 8/9(木)

#### ■ 記念講演会

北アルプスの雪氷から考える  
地球環境  
信州大学 鈴木教授

熊本県大会や九州大会でも発表してきた研究のデータ量を増やし、他者に伝わるように工夫を重ね発表しました。初めての全国大会ということもあり緊張したようですが、練習の成果を存分に発揮できました。

2 日目の巡検研修では、それぞれの場所で、研究成果が職業として、どの様に活かされているのか知ることができ、卒業後の自身の姿について考える良い機会となりました。

3 日目の記念講演会や生徒交流会としてクイズ大会に参加しました。この 3 日間を通して、様々な体験をすることができました。特に、他校の研究発表に刺激を受け、自分たちが次に何をすべきかが明確になった大会でもありました。この経験を活かし、10 月に行われる県大会での上位入賞目指して頑張りたいと思います。

また、中京や関東在住の同窓生の方々にも空港への出迎えなど、多くの応援をいただきました。本当にありがとうございました。

